

発 明 届

受	付	日
本 部	年 月 日	
学 長	年 月 日	
理事長	年 月 日	

X1年Y2月Z3日

学校法人 産業医科大学
理 事 長 殿

発 明 者	
所 属	■○学
職 名	教授
氏 名	産学 栄一 印
所 属	●△学
職 名	助教
氏 名	連携 次三 印
所 属	
職 名	
氏 名	印
所 属	
職 名	
氏 名	印

下記の発明をいたしましたので、産業医科大学知的財産管理規程第4条の規定に基づき届出いたします。

記

1 発明の名称

歩行補助具

2 発明の内容（どの部分が特徴か。下線にて明確にしてください。）

ふくらはぎ支持部、かかと部、足底部及び荷重伝達棒からなり、荷重伝達棒はふくらはぎ支持部とかかと部を連結し、かかと部と足底部は回転可能に支点で連結し、且つ、両者間に存在するバネによりかかと部と足底部の角度が調整される、歩行補助具。

（発明は構成要素（物語で言えば登場人物）とそれらの関係で表す。上記発明では、ふくらはぎ支持部、かかと部、足底部、荷重伝達棒、支点及びバネが構成要素（登場人物）である。）

3 技術分野（本発明が使われる分野）

治療方法 ・ 治療薬剤 ・ 治療器具 ・ 産業医学 ・ 試料解析 ・ その他

4 従来技術（本発明と比較できるように記載してください。先行文献があれば付記してください。）

ふくらはぎ支持部、かかと部、足底部及びそれらを連結する部材からなる歩行補助具は従来から存在した（特開平△-●○号公報）。しかしそれは固定されたものであるため使用者にとって例えばつまづき防止効果が不十分であった。

先行文献	特開平△-●○号公報
------	------------

5 発明の効果（従来技術と比較しての改良点や利点を記載してください。）

本発明は、支点とバネを採用し、足を持ち上げた時ふくらはぎの変化がかか传到伝わり、バネの力がかかとと足底部の角度を変えるようになっているので、つまづき防止の効果が格段に優れている。

6 図面 有 ・ 無 （ある場合は、添付してください。）

7 発明に至った研究課題

8 発明に至った研究課題に係る総額 xx, xxx 円

※経費の内訳（該当欄にレ点及び必要事項を記入ください。）

学内研究費 xx, xxx 円

文部科学省科学研究費 _____ 円

厚生労働省科学研究費

受託研究費（ _____ 円 契約による制限 有・無）

共同研究費（ _____ 円 契約による制限 有・無）

奨学寄付金 _____ 円

その他（ _____ 円 契約による制限 有・無）

なし

9 発表予定（学外発表の予定または発表状況） （方法及び時期）・ 無

刊行物等による発表 刊行物等名：身体機能補助シンポジウム2008 投稿予定日：平成20年08月15日 刊行予定日：平成20年08月01日
学術団体等における研究集会での発表 学術団体等名： 研究集会等名： 予稿集発行予定日：平成 年 月 日 発表予定日：平成 年 月 日

10 譲渡の申出（大学帰属の同意） 有 ・ 無

11 共同研究者（学外の共同発明者がいる場合、すべてご記入ください。）

所 属	
職名、氏名	
連 絡 先	

12 権利持分（共同発明の場合）

発 明 者 等	氏名・所属・資格	持分割合	権利者（出願者）	権利持分	
学内者	代表発明者	産学 栄一	産業医科大学	%	
	共同発明者	連携 次三			40 %
					%
学外者	共同発明者			%	
				%	
				%	

※ 持分割合は、本学に権利譲渡する者の全体の割合を100とした場合の各発明者の持分割合（%）を記入ください。

共同研究者の権利持分が不明確（未検討）の場合は記入されなくても結構です。

（但し、後日必要となりますので、出願までに検討のうえ、ご報告下さい。）

13 その他の参考事項

発明を紹介した企業から製品開発の申し出があるので、広い権利範囲で早期に出願したい。

以 上